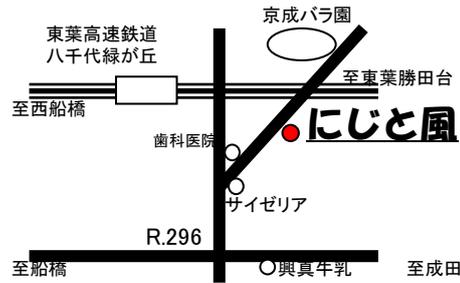


にじと風だより

発行 特定非営利活動法人にじと風福祉会
 〒276-0046 千葉県八千代市大和田新田453-126
 TEL 047-480-0801 FAX 047-480-0807
 発行人 吉野眞里子/yosino@asahi-net.email.ne.jp



今年も宜しくお願い致します

松が取れ、立春も過ぎ梅は満開に庭の水仙も咲いています。新年のご挨拶が出来ず礼を失ってしまい1年が始まってしまいました。皆様、一言では言えない位お世話になりました。有難うございました。

1年は短いようでも色々な事が在りました。嬉しいことも悲しいこともありました。

嬉しい事。かわいいお友達が増えました。にじと風には高校生や中学生、大人もいます。みんなにかわいがられて遊んでいます。大きな子たちがとても優しくしてくれます。あんな風にソート類を一度は触られてみたい。遠くへ引越したお友達から便りが届きます。別れが寂しくて知らんぷりをしていた子もお便りを読んで添えられた写真を見て何とも言えない表情です。今年はお母様に特におめでたいことが多く、ご結婚なさったり、出産が在ったりなんだかとても私達まで幸せな気持ちです。幸せが一杯の1年でありますように！

辛いこと納得できない事も沢山ありました。日がたつと忘れてしまうことが多いです。職員が泣いてしまうほどつらいこともあります。一番は利用する子どものお別れです。私達には計り知れない事も多くあります。いつでもフラット帰ってこれる場所であり続ける事でしかいられないのです。にじと風の職員は研修を内部外部問わず機会を多く設けています。この子のためにこんなことが出来るようになりたいと思えばプロの方のお話を聞きに行きます。でもここは療育の場ではなく遊びを通して一人一人がその人らしく生きて行く力を自分の力で鍛え修得して行く場です。日々の遊びの中で療育は行いません。遊具の工夫をしたり環境の設定をしたりします。午前中と子ども達が帰宅後9時以降の打ち合わせは、時間が足りないくらいです。

にじと風の運営母体は、八千代心身障害児者父母の会です。設立は肢体不自由児の親たちが自分の子を放課後も体力が残っている時は家の外でお友達と遊ばせたいと単純な動機から始まりました。現在も当事者団体としての機能を果たしています。保護者会も組織され素敵な活動をしています。

自主研修会や販売事業、施設見学、勉強会等様々な形でにじと風の活動を支えて下さっています。

最近では働いているお母様も増えてきました。以前とは率が逆転しています。下にお子さんがいらしたりご家での生活は想像以上に大変なことも多いかと思えます。とても積極的に活動されています。工夫して様々な役を果たしています。3ヶ月に1回ある保護者会や総会等に出席なさる方が減ってきました。課題ですね。

にじと風は車椅子マラソン用車椅子のようなもので前は利用することも、後輪2つは支援者である職員と保護者です。後輪の2つが同じレベルで揃っていないとまっすぐ走れません。職員も保護者も前輪においていかれようにはしたいですね。マラソンコースは行政ですね、コース整備が出来てないと車椅子は走れません。

新年になり改めて思うことはにじと風はデイサービスを行っているのではなく、子ども達やそのご家族の方放課後活動を一緒に楽しんでいるのだと思います。楽しむための場所や人手を賄うために現在は介護給付という名称で税金を使って下さっているのだと思えます。国の未来を担う子ども達のために。その名称が変わろうと国の宝である子ども達が素適な日本人になるために児童福祉法や児童憲章のもとで健やかに育つ傍にいられる事は幸せです。しかもその幸を保護者の方と分かち合えるのも嬉しいことです。

「ひよこ宣言」

施設「にじと風」の開所式の際に、「ひよこ宣言」をつくった当事者たち、保護者、関係者の思いを生命ある私たちが継続していきたいと思えます。

(1999.7.18)

1. ずうっとこの町で暮りたい
友だちと一緒にいろんなことをしたい
自分のことは自分で決めたい、自分でやりたい
でも、どうしても出来ないことは手伝って下さい
2. 今日ここに私たちの新しい場所が出来ました
私たちは、ここに閉じこもることなく
ここを基地として
新しい一歩を踏み出すことを宣言します

